

排泄物の処理を自動化

ハマ電子（加須市）

組込みソフトウェア…自動パック制御システムによる 災害、医療、福祉用簡易トイレの開発

商用車の部品加工を主としていたが、10年ほど前から災害用トイレの開発に着手。2012年にトランクタイプの備蓄用簡易トイレ「トイパックII Plus」を製品化した。

とができる。フィルムを一度装着すれば、その都度、フィルムの装着などをせずに約50回連続で使用が可能だ。

手間をかけずに衛生的で、避難所での使用に適しており、一般社団法人防災安全協会より防災製品等推奨品に認定された。

平成24年度のプロジェク

トでは市販の介護用ポータブルトイレに装着できるような自動パック制御システムを試作。これにより介護

の負担が軽減し、施設や病院、自宅などの介護現場での利用が期待できる。

今後の課題は、まず介護

用品メーカーと共同で自動パック制御システムを組み込んだ介護用トイレの製品化を進めること。「使用者の声を取り入れてきめ細かい改良を加え、気持ち良く使用していただける製品にしていきたい」という。

技術的には、軽量化と処理時間の短縮が課題。同時に食料や水の備蓄に比べて進んでいないトイレの備蓄への関心も高めていきたいという。

この製品は、凝

固剤を投入した

後に排泄し、ボタ

ンを押すと自動

的に熱処理で開放部を溶着、排泄物がパックさ

れるというもの。

災害時においては、排泄物のパックは災害ごみとして処理するこ



排泄物処理を自動化した簡易トイレ

【株式会社ハマ電子】

本社工場は加須市船越256番地。藤澤淳司代表取締役。1991年に加須市にて創業。2000年に第2工場を新設。12年から自治体等への災害用トイレの納入を開始した。現在の従業員数は35人。